

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	日本事情
科目基礎情報					
科目番号	03351	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	環境都市工学科	対象学年	3		
開設期	通年	週時間数	2		
教科書/教材	適宜プリント配布				
担当教員	玉田 沙織				
到達目標					
(ア)日本語の文章を読み、内容を正確に把握することができる。 (イ)グラフ・表を読み取って、その特徴について説明することができる。 (ウ)テーマの内容について、自分の意見を持つことができ、明確に伝えることができる。 (エ)他者の意見を聞き、さらに、自分の考えを発展させることができる。 (オ)異文化に対して柔軟、寛容な考えを持つことができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目(ア)	日本語の文章を読み、内容を正確に把握することができる。要点について答えることができる。	日本語の文章を読み、内容を把握することができる。	日本語の文章を読み、内容を把握することができない。		
評価項目(イ)	グラフ・表を読み取って、その特徴について説明することができる。	グラフ・表を読み取ることができる。	グラフ・表を読み取ることができない。		
評価項目(ウ)	テーマの内容について、自分の意見を持つことができ、明確に伝えることができる。	テーマの内容について、自分の意見を持つことができる。	テーマの内容について、自分の意見を持つことができない。		
学科の到達目標項目との関係					
本校教育目標 ⑤ 技術者倫理					
教育方法等					
概要	外国人留学生は工学を学ぶことを目的に本校へ来るが、日常生活上、背景となるべき日本文化についての知識も必要である。また工学も含めて、現代日本社会には、それを作ってきた歴史や伝統もある。日本の社会（政治、経済、教育などの制度）の状況、生活習慣、社会風俗、社会事情、歴史や伝統文化、ものの考え方、感じ方などについて学び、理解を深める。また、日本の現状紹介だけでなくとどまらず、問題点について議論し、日本や自分の母国、他の留学生の母国との比較を行って、深く考察し、広い視野を持てるようになることを目指す。				
授業の進め方・方法					
注意点	外国人留学生3年生専用の科目である。外国人留学生は「日本語Ⅰ」とともに履修すること。				
選択必修の種別・旧カリ科目名					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス、「日本事情」について（語彙・漢字について）		
	2週	住宅事情、結婚と女性の社会進出（新出語彙の発音と意味・内容理解・表やグラフの見方・意見の発表）	日本語の文章を読み、内容を正確に把握することができる。グラフ・表を読み取って、その特徴について説明することができる。テーマの内容について、自分の意見を持つことができ、明確に話すことができる。他者の意見を聞き、さらに、自分の考えを発展させることができる。異文化に対して柔軟、寛容な考えを持つことができる。		
	3週	住宅事情、結婚と女性の社会進出（新出語彙の発音と意味・内容理解・表やグラフの見方・意見の発表）	日本語の文章を読み、内容を正確に把握することができる。グラフ・表を読み取って、その特徴について説明することができる。テーマの内容について、自分の意見を持つことができ、明確に話すことができる。他者の意見を聞き、さらに、自分の考えを発展させることができる。異文化に対して柔軟、寛容な考えを持つことができる。		
	4週	住宅事情、結婚と女性の社会進出（新出語彙の発音と意味・内容理解・表やグラフの見方・意見の発表）	日本語の文章を読み、内容を正確に把握することができる。グラフ・表を読み取って、その特徴について説明することができる。テーマの内容について、自分の意見を持つことができ、明確に話すことができる。他者の意見を聞き、さらに、自分の考えを発展させることができる。異文化に対して柔軟、寛容な考えを持つことができる。		
	5週	住宅事情、結婚と女性の社会進出（新出語彙の発音と意味・内容理解・表やグラフの見方・意見の発表）	日本語の文章を読み、内容を正確に把握することができる。グラフ・表を読み取って、その特徴について説明することができる。テーマの内容について、自分の意見を持つことができ、明確に話すことができる。他者の意見を聞き、さらに、自分の考えを発展させることができる。異文化に対して柔軟、寛容な考えを持つことができる。		
	6週	高齢化社会、日本料理（新出語彙の発音と意味・内容理解・表やグラフの見方・意見の発表）	日本語の文章を読み、内容を正確に把握することができる。グラフ・表を読み取って、その特徴について説明することができる。テーマの内容について、自分の意見を持つことができ、明確に話すことができる。他者の意見を聞き、さらに、自分の考えを発展させることができる。異文化に対して柔軟、寛容な考えを持つことができる。		

評価割合				
	定期試験	小テスト	課題	合計
総合評価割合	40	30	30	100
基礎的能力	40	30	30	100